

## 共通基盤ワーキンググループにおける審議状況

【第1回：6月8日】

審議テーマ	基本的な考え方（案）	基本的な考え方（案）等に対する主な委員意見
統計職員の 人材育成に ついて	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 平成 29 年度に策定する人材育成方針に則り、統計部門の人材育成方策に、平成 30 年度から取り組む。</li> <li>○ 将来的な統計人材の一元的な確保・活用に向け、平成 29 年度に策定する人材育成方針を踏まえて検討。</li> <li>○ 統計委員会は、統計部門に若手研究者等の民間の専門人材を確保する方策を検討</li> <li>○ 職員向けの研修の充実、知識と技能及び統計的思考力の習得に関する研修の充実</li> <li>○ 研修参加機会の拡大</li> </ul>	<p><b>○意見を踏まえ、基本的な考え方を再度整理し、引き続き審議</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外資系企業では、コンピテンシー辞書を作成して、必要な知識、レベルの「見える化」を進められている。官庁についても、個人のスキル・レベルの具体化・見える化を図り進め、育成を図ることが必要。</li> </ul> <hr/> <p><b>○意見を踏まえ、基本的な考え方を再度整理し、引き続き審議</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・統計を専門とする若手研究者が少ない現状は、専門的知識を生かせるような就職先がないことが主な要因。民間や官庁におけるデータサイエンティスト確保の需要が高まっていることから、統計の専門家の雇用先を確保することが重要。</li> <li>・EBPMも、統計やエビデンスに基づいて考える習慣を身につけることが重要であり、統計に基づいて政策を決めるという意識が定着すれば、人材の育成にも有用。</li> </ul>
統計リテラシーの向上 について	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ データ・リテラシー向上を図るため、大学における統計教育との連携・協力。</li> <li>○ 受講者のニーズを踏まえつつ、研修の内容充実や教材・カリキュラムの開発・改定に引き続き取り組む。</li> <li>○ 地方公共団体との意見交換会等、情報収集の機会を拡大し、統計教育の推進を支援。</li> </ul>	<p><b>○事務局が収集している地方自治体における大学との連携事例を収集し、その状況も踏まえて基本的な考え方を再度整理し、引き続き審議</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「社会全体におけるデータ・リテラシー」とあることから、「官・学」の取組に、「民」の参加を求めるよう工夫が必要。</li> </ul>
e-stat の 利便性向上 について	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 統計情報データベースへのデータ登録を拡充。統計データ登録業務を支援。</li> <li>○ e-S t a t の利便性や操作性などに関するニーズを把握し、機能強化を引き続き推進。</li> </ul>	<p><b>○意見を踏まえ、基本的な考え方を再度整理し、引き続き審議</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アメリカの政府統計機関やOECD、EUROSTATのサイトなどは使い勝手が良いことから、e-S t a t の利便性や操作性の向上のためには、これらの機関などを参考にすることも重要。</li> </ul>

審議テーマ	基本的な考え方（案）	基本的な考え方（案）等に対する主な委員意見
統計に共通する課題の研究等について	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 統計を利用する際に必要な情報をe-Statに登録。</li> <li>○ 実施予定の調査研究の情報共有、調査研究への統計委員会の支援・助言の仕組みの整備。</li> <li>○ 統計技術の研究、統計技術的な課題解決の支援。</li> <li>○ ビッグデータの利用に関する高度な統計技術の研究開発、ビッグデータの分析事例や活用事例に関する研修の実施。</li> <li>○ マルチモード調査における精度等の確保に関する研究。</li> </ul>	<p><b>○ 意見を踏まえ、基本的な考え方を再度整理し、引き続き審議</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 統計研究研修所の研究について、外部の研究機関との連携も図り、より高度な研究の実施が必要。そして、研究成果を各府省や地方公共団体へフィードバックする仕組みが必要。</li> </ul>
災害発生時等の備えについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大規模災害が発生した場合に関する対応指針に基づき、行動計画を策定。</li> </ul>	<p><b>○ 意見を踏まえ、基本的な考え方を再度整理し、引き続き審議</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害発生時の対応指針には、災害発生後も通常業務をいかに継続していくかの観点から規定されているが、災害に伴い新たに発生する事務への対応といった内容を当該指針に盛り込むことが必要。</li> </ul>
表章区分の整理・標準化について	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域ブロック区分、年齢、事業所規模などの結果表章の区分の標準的な表章区分の在り方の結論を得る。</li> </ul>	<p><b>○ 意見を踏まえ、基本的な考え方を再度整理し、引き続き審議</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 統計間の比較可能性を向上させることは、ユーザーサイドにとって重要なこと。ユーザーのニーズも踏まえた検討が必要。</li> <li>・ 統計調査の対象とする企業の定義を作成するなど、統計基準の見直しが必要。</li> </ul>